

1. 前回の協議会(第1回)で頂いた意見

前回の協議会では、マップの概要、提供方法、掲載内容、大まかな構成案、スケジュール等について報告させて頂きました。頂いた意見は以下のとおりです。

バリアフリーマップの調査主体はどういう人たちなのか。

マップの調査主体につきましては、市がプロポーザル選定した委託業者にて行い、障害のある当事者スタッフや障害に関して知見のあるスタッフの視点により調査や企画設計監修等を行います。

バリアフリーマップ(冊子版)について、全戸配布としてはどうか。

冊子版の配布につきましては、市役所などの窓口で配布するとともに、全戸対応といたしまして、冊子作成時に市の広報誌や SNS 等を活用して、二次元コードの読取により、閲覧できるようにするなどの対応を予定しています。

2. バリアフリー調査の実施(現地調査)

今年度モデル地区となる岡町駅地区周辺的生活関連施設・生活関連経路の調査を行いました。調査段階では、バリアフリー調査項目について、国のマニュアルとの整合性や協議会での確認を行った上で、委託業者の専門スタッフによる当事者視点での調査を実施いたしました。

【調査実施時のメンバー】

- ・市の職員(基盤整備課職員)
- ・委託業者(障害のある当事者スタッフや知見のあるスタッフ)
- ・施設の担当者



当事者スタッフによる調査の様子

3. バリアフリーマップ(素案)の作成について

マップの完成イメージを具体化した「バリアフリーマップ(素案)」を作成いたしました。冊子版では、情報の掲載量に限りがあります。優先度が高いと考えられる項目を選定して掲載するとともに、以下の視点を取り入れています。

①調査で得られた情報を現状のまま掲載

障害特性や程度により、移動に関する課題やニーズは異なるため、冊子を手取る方が自身で通行できる、利用ができるかを判断できるような情報発信としています。具体的には、バリアフリー情報だけでなく、道が狭い、勾配がきついといったバリア箇所の発信も行っています。

②色覚特性・弱視の方にも配慮した表記・デザイン

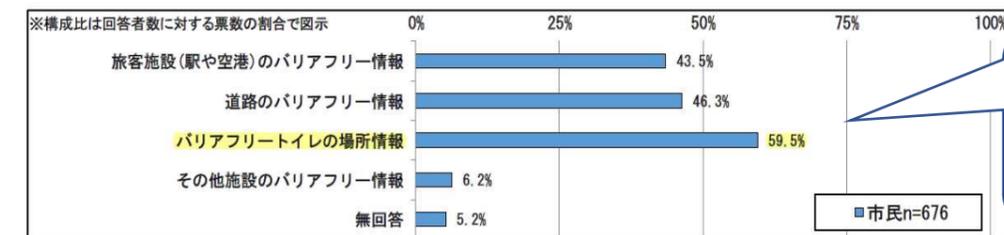
弱視の方にも見やすいよう、色のコントラストを意識したデザインや色分けだけに依存しない表記とし、1型色覚(赤を感じる視細胞がない場合)、2型色覚(緑を感じる視細胞がない場合)といった色覚シミュレーションを行っています。

③分かりやすいイラストやアイコンの記載、ルビの表記

発達障害のある人や知的障害のある人、また外国人にとっても分かりやすいよう、可能な限り、イラストやアイコンを使用し、固有名称や難しい漢字には、ルビ(ひらがな)の表記を行っています。

④トイレに関する情報を重点的に掲載

安心して出かけられるためには、外出先のトイレに関する情報が、非常に重要です。本市では、車椅子対応、オストメイト対応といった情報だけでなく、多様な利用者を想定して、バリアフリートイレに設置されている様々な設備情報を発信しています。



グラフ：重要と思うバリアフリー情報

マスタープラン策定時に実施した市民アンケートにおいても、トイレに関する情報は重要だと考えられています。

⑤事業者と連携した情報掲載

公共施設情報だけでなく、事業者と連携し、公共交通や商業施設などの掲載を予定しています。

4. バリアフリーマップ(素案)の製本サンプルについて

本日は、バリアフリーマップの製本サンプルを事前に配布しています。市の方から、議論のポイントを複数提示させて頂きますが、そのほかにも、気になった点や、こうするべきではないかなど自由討論を行いつつ、検討していきたいと思えます。

議論のポイント①対象者にとって、必要な情報が掲載されているか。

対象者	素案への掲載状況の例
視覚障害のある人	施設や経路の点字/音響式信号/移動経路案内板 等
聴覚・言語障害のある人	筆談などの窓口対応 等
肢体不自由者・車椅子使用者	バリアフリートイレ/経路や施設の勾配・幅員・段差/優先駐車場/エレベーター 等
内部障害のある人	オストメイト対応/ベンチや休憩スペース 等
発達障害のある人	ベンチや休憩スペース/水飲み場 等
知的障害のある人	ベンチや休憩スペース/水飲み場 等
精神障害のある人	ベンチや休憩スペース/水飲み場 等
高齢者	経路や施設の勾配・段差/ベンチや休憩スペース/エレベーター 等
妊産婦・子ども連れ	経路や施設の勾配・段差/ベンチや休憩スペース/エレベーター/オムツ交換台/授乳室/ベビーチェア 等
外国人	多言語対応 等
その他(初めて訪れた人など)	案内所 等

議論のポイント②冊子の仕様やレイアウト等は、使いやすく、分かりやすいものとなっているか。

仕様(A4 中綴じ冊子)	手に取ったときの大きさ、持ち運びやすさなど
レイアウト、表示方法	掲載内容(文字や画像・イラスト)の大小、各凡例の伝わりやすさなど
その他	自由意見

議論のポイント③バリアフリートイレ設備一覧の写真掲載について

素案では、バリアフリートイレ設備一覧(P12～P14)として、岡町エリア内のバリアフリートイレ情報を集約したページを設けています。設備情報等を一覧で記載するとともに、市有施設に関しては、各トイレの写真を掲載することを予定しています。

5. 今後の予定について

①バリアフリーチェックシステムの実施

協議会での意見もふまえて、当事者意見の反映として、バリアフリーチェックシステムの実施を予定しています。

②視覚障害のある人に向けたバリアフリーマップ(テキスト版)の作成

視覚障害のある人にとっては、一般的な地図などの画像による視覚的な情報提供がされていても、そのままでは情報を把握することができません。そのため、文字情報として集約することで、音声に変換して利用することができるバリアフリーマップ(テキスト版)の作成を予定しております。

【作成予定のテキストデータ(案)】

- ・パソコン、スマートフォンの音声読み上げソフトや点字ディスプレイなどで利用できる汎用性の高いテキストデータで作成します。
- ・経路の道案内は、所要時間(分)、距離(メートル)、方向をクロックポジション(時計の短針に例えて示す方法)で示します。
- ・点字ブロックが連続的に敷設されている経路を中心に、駅と公共施設間の経路を優先して取り組みます。